

講義名	対)地域総合政策論			
担当教員	森津 秀夫			
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要 地域活性化やまちづくりを進めるには社会基盤施設、交通、産業、文化、教育、福祉、環境、防災など様々な分野にわたる政策が必要である。この講義においてはこれらの政策体系の仕組みについて学び、具体例として様々な地域の事例について解説する。

到達目標 ・地域課題を認識できるようになる。 ・地域課題に対する総合的な解決が発想できるようになる。 今年度の履修予定者のほぼすべてが昨年度に単位を取得できなかった人たちです。オンライン授業では十分に学習できなかったということです。到達目標を達成できるように、今年度は対面授業のみとします。

提出課題 随時、演習課題あるいはレポート課題を課す。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック 課題に関しては、提出後の講義において解説を行う。
--

評価の基準 授業参加度と演習課題、レポート課題等が40%、試験が60%として評価する。

履修にあたっての注意・助言他 授業では、総合政策に関する時事問題をその都度取り上げることがあるので、普段から新聞等のニュースに気を配るようにはしてください。また、これに伴い、授業計画を適宜変更することがあります。
--

教科書 ・教科書なし。					
-----------------------	--	--	--	--	--

プリント資料及び参考文献 プリント資料を適宜、配付します。 参考文献は、講義の際にそのテーマに応じて紹介しますので、関心のある項目について学習を深めるようにしてください。
--

授業計画 第1回 「地域総合政策論」講義概要 第2回 -1 まちづくりと地域総合政策 第3回 -2 まちづくりのための政策 第4回 -3 まちづくりを担う自治体の組織(1) 第5回 -3 まちづくりを担う自治体の組織(2) 第6回 -4 まちづくりのプロセス 第7回 -5 総合計画 第8回 -6 兵庫県下の市町の総合計画 第9回 -1地域総合政策の要となる交通 -交通まちづくり- 第10回 -2 物流と交通 第11回 -3 環境と交通(1) 第12回 -3 環境と交通(2) 第13回 -4 商業施設と交通 第14回 -5 防災と交通 第15回 -6 福祉と交通

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間 講義終了後には当該箇所を十分に復習すること。あらかじめ講義資料が配られている場合はよく読んで講義に備えること。地域活性化やまちづくりに関係する新聞記事には目を通しておくこと。講義内容に関する事後確認と下調べに毎回4時間程度をかけることを目安とする。なお、レポート作成もこの中に含む。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 地域課題を認識し、地域課題に対する総合的な解決が発想できるようになることを到達目標とし、「複雑化する地域社会で生じる問題を読み解き、解決策を提案すること」に資するものである。
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用 実務経験あり 交通、都市計画、大規模小売店舗、環境、防災、国民保護、事業評価など様々な分野に関し、約40年にわたって県・市等の各種審議会、審査会、懇話会、協議会等に参加してきた。これらの経験に基づいて地域総合政策の策定について解説する。

備考 一時的に通学できない受講者が生じた場合、対面授業の録音音声と対面授業では受講者に筆記させる部分をも記載した講義資料配付します。演習課題はオンラインでの提出を求めます。
--